

【Urban Innovation KOBE+P】成果一覧表

提案テーマ	部署名	企業名	提案内容	状況
①買い物 de 健康に	新産業課	シルタス(株)	神戸市内のダイエー11店舗にて、ユーザーの買い物履歴から栄養状態を傾向分析し、不足する栄養素などを軸に食材やレシピを提案するサービス(SIRU+)の実証実験を行う。	平成31年3月13日採択。平成31年3月29日～7月末まで実証実験を実施。
②子ども服の交換サービス「Lynks (リンクス)」	新産業課	(株)BLUE STYLE	六甲道児童館の協力を得て、中古服の物々交換を行うイベントを実施する。服を交換することを体感してもらうことで、服を交換するという文化の浸透を目指す。	令和元年6月4日採択。 令和元年6月15日(土)、6月29日(土)に六甲道児童館で服の交換イベントを実施。
③電動キックボード「mobby」	交通政策課	(株)Mobby ride	電動キックボード「mobby」の体験会を通じて、認知向上と乗車ニーズの把握を行い、神戸市における新たなモビリティサービス検討の一助とする。	令和元年8月9日(金)10:00～16:00にメリケンパークで試乗会を実施し、109名が来場。 令和2年11月26日(木)～令和3年3月19日(金)使用者及び走行ルート(三宮エリアの一部の普通自転車専用通行帯を含む)を限定し公道走行実証実験中。
④あらゆる制作物のチェック業務の生産性を上げる画期的なレビューツール「Brushup (ブラッシュアップ)」	広報課	(株)Brushup	広報紙 KOBE9月号の作成にあたり、従来の制作物の校正作業及びデザイン会社とのやり取りをBrushup上で実施。Brushup導入の効果を業務時間の削減、紙資源の削減、使い勝手などの観点から評価する。	令和元年9月1日から広報課広報紙ラインへの正式導入決定。
⑤地域課題解決と新産業創出をテーマとした「ゼミ」と「宿泊型学習」	東京事務所	株式会社 LX DESIGN	神戸市内の大学生・高校生を中心に、地域課題解決と新産業創出をテーマとした1日開催の「ゼミ」と、神戸の地元学生に加えて、東京など市外からの学生が参加し3泊4日の期間で集中的に取り組む宿泊型学習を実施。神戸市への関心を高め、地元学生との交流を深めることで、神戸市の関係人口の増加・移住促進につなげていくことを目指すとともに、地元学生が地域の魅力を再認識する機会とする。	【ゼミ】 令和元年11月18日実施、14名参加 【宿泊型研修】 令和2年2月～3月実施予定

【Urban Innovation KOBE+P】成果一覧表

<p>⑥スマートIoTトイレ トイレットペーパーホルダー 「KamiR (カメラール) 」</p>	<p>新産業課 (公園部 管理課)</p>	<p>FutuRocket 株式会社</p>	<p>トイレットペーパーの残量や紙切れを モニタリングできる、スマートIoTトイレトイレットペーパーホルダー「KamiR (カメラール) 」を使用して、公共トイレの利用実態を調査。トイレの利用頻度や紙の残量を見える化することにより、公共トイレがいつ、どれくらい利用されているのかを把握。将来的な市のトイレ清掃計画の効率化や、トイレットペーパーの購買計画の最適化への活用の可能性を探る。</p>	<p>令和2年2月下旬～3月下旬東遊園地内のトイレにて実証実験終了</p>
<p>⑦官民連携プラットフォーム「WiseVine(ワイズバイン)」</p>	<p>情報化戦略部 新産業課</p>	<p>株式会社 WiseVine</p>	<p>予算の策定や調達に関する準備等の業務について、官民連携プラットフォーム「WiseVine」を活用して情報収集を行うことにより、これらの業務を効率化することができるか検証する。 併せて、業務執行に関する競争性および透明性の確保や、様々な事業者に公平に参入の機会を提供することで調達コストを引き下げることが可能かについても検証する。</p>	<p>令和2年3月～8月 情報化戦略部・新産業課にて実証実験終了</p>
<p>⑧水中ドローン 「DiveUnit300」</p>	<p>新産業課 (水道局 浄水管理 センター)</p>	<p>株式会社 FullDepth</p>	<p>水中ドローンを活用してダム堤体水中部の一定範囲を撮影し、USBL 音響測位装置※1 から得られるデータや水中ドローン姿勢データ等を用いて映像を3次元化(オルソ画像化※2)する。 本実証実験を通じ、ダム水中部の維持管理業務における水中ドローンの可用性を評価し、今後の検討材料とする。 ※1 USBL 音響測位装置： 水上の船および水中ドローン本体に取り付けた装置同士が音響信号を送受信することで、水中ドローンの位置座標を測定することができる装置 ※2 オルソ画像： 空中写真を位置ズレのない画像に変換し、正しい位置情報を付与したもの</p>	<p>令和2年春</p>
<p>⑨風水害を体験できるカードゲーム 「風水害24(仮称)」</p>	<p>広報課</p>	<p>(特非)イシュープラスデザイン</p>	<p>風水害発生時の24時間を追体験可能なカードゲーム「風水害24(仮称)」を開発し、これを体験することで災害リテラシーの向上・防災に必要な知識の提供などを目指し、「風水害24(仮称)」を活用したワークショップを実際開催し、効果検証を行う</p>	<p>日時 令和2年8月20日(木) 17時～19時30分 場所 灘中央市場中央会館3階会議室 参加者 15名程度</p>

【Urban Innovation KOBE+P】成果一覧表

<p>⑩総合コールセンターにおける対応履歴の自動分析分析AI「YOSHINA」</p>	<p>広聴課</p>	<p>(株)レトリバ</p>	<p>① 総合コールセンターの対応履歴のうち、家庭ごみに関する 2,253 件（本年 4 月分）を対象とし、「YOSHINA」による自動分析を実施 ② ①と職員による分析結果と比較し、YOSHINA の分析能力を検証</p>	<p>職員が事前に手動で行っていた分析結果と、相違ない分析結果が「ほぼ即時に自動で生成される」ことが確認 費用対効果による評価を前提とし、総合コールセンターによる活用を検討</p>
<p>⑪録画面接システム「recommms（レックコムズ）」</p>	<p>経済観光局経済政策課海外ビジネスセンター</p>	<p>(株)キャプサー</p>	<p>神戸市内で採用を検討している事業者様と連携し、録画面接システム「レックコムズ」を実際の採用にご活用頂き、面接の効率化・評価手法の改善が出来ているかを検証する。 ※録画面接は、質問をテキストや動画で見てもらい、その答えを録画する形で進める。企業の採用担当者は、録画された内容を元に、多くの関係者と評価を共有しながら選考を進める事が可能</p>	<p>市内事業者による実際の面接での活用の結果、面接の効率化（面接実施件数の増加に対し、選考時間の圧縮、録画済み動画の参照による第三者的評価による質の向上）が認められ、特に大量の面談を行う場合に有益なことが確認された。 有益性は一定確認されたため、市役所での利用については、今後の検討とする。</p>
<p>⑫解体希望の空き家所有者に対する専門工事会社一括見積りを Web サービス「くらそうね」</p>	<p>新産業課（すまいるネット協力)</p>	<p>(株)クラッソーネ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内老朽空き家の所有者等の相談を多く受ける、すまいるネットのホームページに「くらそうね」バナーリンクを掲載。 ・すまいるネット窓口において、空き家所有者に対して「くらそうね」のフライヤーを設置。 ・クラッソーネによる、神戸市内の老朽空き家等所有者へのセミナーや P R 展開への協力も検討する。 	<p>令和 3 年 3 月から実証実験中</p>